

## 支援学校中学部 保健体育

### 解答についての注意点

- 1 問題は、特別支援教育に関する大問 **1**、教科等に関する大問 **2**～大問 **5** の各問題から構成されています。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 3 大問 **1**～大問 **4** については、マーク式解答用紙に、大問 **5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 4 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。  
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 5 大問 **1**～大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。  
例えば、「解答番号は  」と表示のある問題に対して、「3」と解答する場合は、解答番号  の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 6 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 7 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。



大阪府では、「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とし、「障がい」としています。問題中では、機関・団体の名称等の固有名詞や、法令や文献等からの引用部分については、もとの「障害」の表記にしています。

1 特別支援教育に関する法令や近年の動向について、次の(1)～(8)の問いに答えよ。

(1) 次の文は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(平成28年4月施行)第一条である。空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

(目的)

第一条 この法律は、 (昭和四十五年法律第八十四号)の基本的な理念にのっとり、全ての障害者が、障害者でない者と等しく、を享有する個人としてその尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有することを踏まえ、障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項、等及び事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置等を定めることにより、障害を理由とする差別の解消を推進し、もって全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながらする社会の実現に資することを目的とする。

	ア	イ	ウ	エ
1	発達障害者支援法	社会生活	独立行政法人	共生
2	障害者基本法	平等権	行政機関	支援
3	発達障害者支援法	基本的人権	地方公共団体	共生
4	障害者基本法	平等権	地方公共団体	支援
5	障害者基本法	基本的人権	行政機関	共生

(2) 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令の制定並びに特別支援学校幼稚部教育要領の全部を改正する告示及び特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の全部を改正する告示の公示について(通知)」(平成29年4月 文部科学省)の(5)小学部・中学部における主な改善事項④「一人一人に応じた指導の充実」では、児童生徒の障がいの状態や特性及び心身の発達の段階等を十分考慮し、育成を目指す資質・能力を育むため、障がいの特性等に応じた指導上の配慮を充実させることを示した。次に示す指導上の配慮は、特に、どの障がい種別にあたるか。正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

障がいの特性等に応じた指導上の配慮	障がい種別
間接体験、疑似体験等を取り入れた指導方法の工夫	<input type="text" value="ア"/>
体験的な活動を通じた的確な言語概念等の形成	<input type="text" value="イ"/>
音声、文字、手話、指文字等を活用した意思の相互伝達の充実	<input type="text" value="ウ"/>
空間や時間の概念形成の充実	<input type="text" value="エ"/>

	ア	イ	ウ	エ
1	聴覚障害	視覚障害	病弱	肢体不自由
2	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	病弱
3	病弱	肢体不自由	聴覚障害	視覚障害
4	病弱	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由
5	視覚障害	聴覚障害	病弱	肢体不自由

(3) 次の各文は、「特別支援学校小学部・中学部学習指導要領」(平成29年4月告示)の記述である。  
次の①、②の問いに答えよ。

① 「第7章 自立活動」について、正しく述べられているものの組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 「目標」は、個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培うことである。

イ 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつこと。

ウ 自立活動の指導に当たっては、個々の児童又は生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等の的確な把握に基づき、指導すべき課題を明確にすることによって、指導目標及び指導内容を設定し、個別の指導計画を作成するものとする。

エ 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。

オ 学級活動においては、適宜他の学級や学年と合同で行うなどして、少人数からくる種々の制約を解消し、活発な集団活動が行われるようにする必要があること。

- 1 アーウ
- 2 イーエ
- 3 アーウーオ
- 4 イーウーエ
- 5 アーイーウ

② 次の各文は、自立活動の「内容」の記述の一部である。記述中の空欄ア～オに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

1 健康の保持

2 心理的な安定

3

- (1) 他者とのかかわりの基礎に関する事。
- (2) 他者の意図や感情の理解に関する事。
- (3) 自己の理解と行動の調整に関する事。
- (4) 集団への参加の基礎に関する事。

4

- (1) 保有する感覚の活用に関する事。
- (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事。
- (3) 感覚の補助及び  の活用に関する事。
- (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事。
- (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。

5

- (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事。
- (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事。
- (3) 日常生活に必要な基本動作に関する事。
- (4) 身体の移動能力に関する事。
- (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事。

6 コミュニケーション

- (1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事。
- (2) 言語の  と表出に関する事。
- (3) 言語の形成と活用に関する事。
- (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。
- (5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	人間関係の形成	環境の把握	保有感覚	身体の動き	理解
2	個人と他者	環境の把握	保有感覚	安全な生活	理解
3	人間関係の形成	体験学習	保有感覚	安全な生活	受容
4	人間関係の形成	環境の把握	代行手段	身体の動き	受容
5	個人と他者	体験学習	代行手段	身体の動き	理解

(4) 次の各文は、「学校教育法」(平成30年6月一部改正)の「第八章 特別支援教育」の条文である。  
正しいもののみをすべてあげているのはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。

イ 特別支援学校には、小学部及び中学部を置かなければならない。ただし、特別の必要のある場合においては、そのいずれかのみを置くことができる。

ウ 特別支援学校の幼稚部の教育課程その他の保育内容、小学部及び中学部の教育課程又は高等部の学科及び教育課程に関する事項は、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準じて、都道府県教育委員会が定める。

エ 特別支援学校には、寄宿舎を設けなければならない。ただし、特別の事情のあるときは、これを設けないことができる。

オ 都道府県は、その区域内にある学齢児童及び学齢生徒のうち、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者で、その障害が第七十五条の政令で定める程度のものを就学させるに必要な特別支援学校を設置しなければならない。

- 1 アーイーエ
- 2 イーウーオ
- 3 アーイーエーオ
- 4 アーウーエーオ
- 5 アーイーウーエーオ

(5) 次の文は、「発達障害者支援法」(平成28年6月一部改正) 第八条の一部である。文中の空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

国及び地方公共団体は、発達障害児（十八歳以上の発達障害者であって高等学校、及び特別支援学校並びに専修学校の高等課程に在学する者を含む。以下この項において同じ。）が、その年齢及び能力に応じ、かつ、その特性を踏まえた十分な教育を受けられるようにするため、可能な限り発達障害児が発達障害児でない児童と共に教育を受けられるよう配慮しつつ、適切な教育的支援を行うこと、の作成（教育に関する業務を行う関係機関と医療、保健、福祉、労働等に関する業務を行う関係機関及び民間団体との連携の下に行う個別の長期的な支援に関する計画の作成をいう。）及びの作成の推進、の防止等のための対策の推進その他の支援体制の整備を行うことその他必要な措置を講じるものとする。

	ア	イ	ウ	エ
1	大学	個別の教育支援計画	個別の指導に関する計画	差別
2	中等教育学校	個別の教育支援計画	個別の指導に関する計画	いじめ
3	中等教育学校	個別の指導に関する計画	個別の教育支援計画	差別
4	大学	個別の指導に関する計画	個別の教育支援計画	いじめ



(6) 「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」（平成31年3月 文部科学省）について、次の①、②の問いに答えよ。

① 「2 学習評価の主な改善点について」、空欄ア～エに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。  
1～5から一つ選べ。解答番号は

高等学校及び特別支援学校（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由又は病弱）高等部における各教科・科目の評価について、学習状況を  に捉える観点別学習状況の評価と、これらを  に捉える評定の両方について、学習指導要領に示す各教科・科目の目標に基づき学校が地域や  に即して定めた当該教科・科目の目標や内容に照らし、その実現状況を評価する、目標に  した評価として実施することを明確にしたこと。

	ア	イ	ウ	エ
1	個別的	作業的	生徒の実態	準拠
2	職業的	客観的	家庭の状況	配慮
3	個別的	総括的	家庭の状況	準拠
4	分析的	客観的	キャリア教育	配慮
5	分析的	総括的	生徒の実態	準拠

② 「3 指導要録の主な改善点について」、空欄ア～ウに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。  
1～5から一つ選べ。解答番号は

特別支援学校（知的障害）各教科については、特別支援学校の新学習指導要領において、小・中・高等学校等との  を重視する観点から小・中・高等学校の各教科と同様に育成を目指す  の三つの柱で目標及び内容が整理されたことを踏まえ、その学習評価においても観点別学習状況を踏まえて  を行うこととしたこと。

	ア	イ	ウ
1	生きる力	資質・能力	自由記述
2	学びの連続性	資質・能力	文章記述
3	横断的学習	資質・能力	文章記述
4	学びの連続性	改善・克服	特技の記述
5	生きる力	改善・克服	自由記述

(7) 次の各文は、「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」(平成27年12月中央教育審議会答申)のこれからの時代の教員に求められる資質能力について述べたものである。正しい記述のみをすべてあげた組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア これまで教員として不易とされてきた資質能力に加え、自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていくことのできる力や、情報を適切に収集し、選択し、活用する能力や知識を有機的に結びつけ構造化する力などが必要である。

イ 子供たち一人一人がそれぞれの夢や目標の実現に向けて、自らの人生を切り開くことができるよう、これからの時代に生きる子供たちをどう育成すべきかについての目標を組織として共有し、その育成のために確固たる信念をもって取り組んでいく姿勢が必要である。

ウ アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善、道徳教育の充実、小学校における外国語教育の早期化・教科化、ICTの活用、発達障害を含む特別な支援を必要とする児童生徒等への対応などの新たな課題に対応できる力量を高めることが必要である。

エ 学校安全への対応、幼小接続をはじめとした学校間連携等への対応が必要である。

オ 「チーム学校」の考えの下、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、組織的・協働的に諸課題の解決に取り組む力の醸成が必要である。

- 1 ア－イ－ウ
- 2 イ－ウ－オ
- 3 ア－イ－ウ－エ
- 4 ア－ウ－エ－オ
- 5 ア－イ－ウ－エ－オ

(8) 「大阪の支援教育」(令和元年度版 大阪府教育庁)において、述べられている大阪府の支援教育の現状のうち、適切でないものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 大阪府では、すべての幼児児童生徒が「ともに学び、ともに育つ」教育を基本として幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、支援学校などで、一人ひとりのニーズに応じた教育を行っている。
- 2 平成30年度の大阪府における小・中・義務教育学校への支援学級設置校率は、他府県と比較して高い。
- 3 支援学校(小・中学部)に在籍する児童生徒は、支援学級に在籍する児童生徒より多い。
- 4 学齢期の子どもが減少しているが、支援学校・支援学級に在籍する児童生徒は増加している。
- 5 障がいの重度・重複化など、障がいのある子どもの教育を取り巻く状況の変化に伴い、幼児児童生徒や保護者の意識やニーズが多様化している。

2 中学校学習指導要領（平成29年3月告示）「第2章 第7節 保健体育」の内容について、次の（1）～（4）の問いに答えよ。

（1）「第1 目標（1）～（3）」について、空欄A～Eに入る語句の正しい組合せはどれか。  
1～5から一つ選べ。解答番号は

体育や保健の見方・考え方を働かせ、（ A ）を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な（ B ）を身に付けるようにする。

（2）運動や健康についての（ C ）の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、（ D ）力を養う。

（3）生涯にわたって運動に（ E ）とともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

	A	B	C	D	E
1	多様性	知識	自他	他者の意見を聞く	親しむ
2	課題	知識	個人	他者の意見を聞く	携わる
3	課題	技能	自他	他者に伝える	親しむ
4	多様性	技能	個人	他者の意見を聞く	携わる
5	課題	技能	自他	他者に伝える	携わる

(2)「第2 各学年の目標及び内容 体育分野 第3学年 2 内容 G ダンス (1)」に関する記述A～Eについて、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしい音楽に合わせて、個や群で、まとまりのある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ること。
- B 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ること。
- C 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ること。
- D コンテンポラリーダンスでは、日本の民踊<sup>よ</sup>や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ること。
- E 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、仲間と協力しながら、リズムに乗って全身で踊ること。

	A	B	C	D	E
1	×	○	○	×	×
2	×	○	○	○	×
3	○	○	×	○	×
4	○	×	×	○	○
5	○	×	×	×	○

(3)「第2 各学年の目標及び内容 保健分野 3 内容の取扱い (3)～(5)」について、A～Cに入る語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

(3) 内容の(1)のAの(イ)及び(ウ)については、食育の観点も踏まえつつ健康的な生活習慣の形成に結び付くように配慮するとともに、必要に応じて、コンピュータなどの情報機器の使用と健康との関わりについて取り扱うことにも配慮するものとする。また、( A )についても取り扱うものとする。

(4) 内容の(1)のAの(エ)については、心身への( B )及び依存性について取り扱うこと。また、薬物は、覚醒剤や大麻等を取り扱うものとする。

(5) 内容の(1)のAの(オ)については、( C )免疫不全症候群(エイズ)及び性感染症についても取り扱うものとする。

《参考》

内容の(1)のAの(イ)：健康の保持増進

内容の(1)のAの(ウ)：生活習慣病

内容の(1)のAの(エ)：喫煙、飲酒、薬物乱用

内容の(1)のAの(オ)：感染症

	A	B	C
1	メタボリックシンドローム	慢性影響	後天性
2	メタボリックシンドローム	急性影響	先天性
3	が ん	慢性影響	先天性
4	メタボリックシンドローム	急性影響	後天性
5	が ん	急性影響	後天性

(4)「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1 (2)」について、空欄A～Dに入る語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

(2) 授業時数の配当については、次のとおり扱うこと。

- ア 保健分野の授業時数は、3学年間で（ A ）単位時間程度配当すること。
- イ 保健分野の授業時数は、3学年間を通じて適切に配当し、各学年において効果的な学習が行われるよう考慮して配当すること。
- ウ 体育分野の授業時数は、各学年にわたって適切に配当すること。その際、体育分野の内容の「A体づくり運動」については、各学年で（ B ）単位時間以上を、「H体育理論」については、各学年で（ C ）単位時間以上を配当すること。
- エ 体育分野の内容の「B器械運動」から「（ D ）」までの領域の授業時数は、それらの内容の習熟を図ることができるよう考慮して配当すること。

	A	B	C	D
1	36	9	6	F 武 道
2	36	9	3	G ダンス
3	48	7	3	G ダンス
4	48	7	3	F 武 道
5	48	9	6	G ダンス

3 教科「保健体育」体育分野に関連する（１）～（４）の問いに答えよ。

（１）文部科学省の新体力テスト項目と評価内容の対応関係の説明A～Eについて、正しいものを○、誤っているもの×とした場合、正しい組合せはどれか。１～５から一つ選べ。

解答番号は

- A 50m走は、スピードと筋持久力を評価するものである。
- B 握力は、瞬発力を評価するものである。
- C 反復横とびは、全身持久力を評価するものである。
- D 20mシャトルランは、走能力・全身持久力を評価するものである。
- E 上体起こしは、筋力と全身持久力を評価するものである。

	A	B	C	D	E
1	×	×	○	○	○
2	○	×	×	○	×
3	×	○	○	×	×
4	×	×	×	○	×
5	○	○	×	×	○

(2) 外国のフォークダンスA～Dの名称と発祥地の組合せについて、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 

16
----

- A ヒンキー・デインキー・パーリ・ブー - アメリカ
- B ハーモニカ - イスラエル
- C オスローワルツ - イタリア
- D ラ・クカラーチャ - メキシコ

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	×	○	×	○
3	○	×	○	×
4	○	○	×	○
5	○	×	×	○



(3) 「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」(平成30年3月 スポーツ庁)の記述について、空欄A～Dに入る語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

4 生徒のニーズを踏まえたスポーツ環境の整備

(2) 地域との連携等

ア 都道府県、学校の設置者及び校長は、生徒のスポーツ環境の充実の観点から、学校や地域の実態に応じて、地域のスポーツ団体との連携、保護者の理解と協力、( A )の活用等による、学校と地域が共に子供を育てるという視点に立った、学校と地域が協働・融合した形での地域におけるスポーツ環境整備を進める。

イ 公益財団法人日本体育協会(※)、地域の( B )、競技団体及びその他のスポーツ団体は、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等の生徒が所属する地域のスポーツ団体に関する事業等について、都道府県もしくは学校の設置者等と連携し、学校と地域が協働・融合した形での地域のスポーツ環境の充実を推進する。

また、学校の設置者等が実施する( C )の任用・配置や、運動部顧問等に対する研修等、スポーツ指導者の質の向上に関する取組に協力する。

ウ 地方公共団体は、学校管理下ではない社会教育に位置付けられる活動については、各種保険への加入や、学校の負担が増加しないこと等に留意しつつ、生徒がスポーツに親しめる場所が確保できるよう、( D )施設開放事業を推進する。

エ 都道府県、学校の設置者及び校長は、学校と地域・保護者が共に子供の健全な成長のための教育、スポーツ環境の充実を支援するパートナーという考え方の下で、こうした取組を推進することについて、保護者の理解と協力を促す。

※ 2018年4月1日 団体名称を「公益財団法人日本スポーツ協会」に変更

	A	B	C	D
1	教職員	スポーツ事業団	外部指導者	社会体育
2	民間事業者	体育協会	部活動指導員	学校体育
3	民間事業者	体育協会	外部指導者	学校体育
4	民間事業者	スポーツ事業団	部活動指導員	社会体育
5	教職員	体育協会	部活動指導員	学校体育

(4) 次のうち、「運動プログラム作成のための原理原則—安全で効果的な運動を行うために」(厚生労働省)において示されている「トレーニングの原理」として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 過負荷の原理
- B 全面性の原理
- C 特異性の原理
- D 漸進性の原理
- E 可逆性の原理

- 1 A、B、C、E
- 2 A、C、D
- 3 A、C、E
- 4 B、D、E
- 5 B、D

4 教科「保健体育」保健分野に関連する（１）～（６）の問いに答えよ。

（１）「健康増進法の一部を改正する法律」（平成30年法律第78号）に関する記述A～Eについて、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- A 望まない受動喫煙の防止を図るため、多数の者が利用する施設等の区分に応じ、当該施設等の一定の場所を除き喫煙を禁止するとともに、当該施設等の管理について権原を有する者が講ずべき措置等について定められた。
- B 学校・病院・児童福祉施設等においては、敷地内禁煙とされているが、屋外で受動喫煙を防止するために必要な措置がとられた場所に、喫煙場所を設置することは可能である。
- C 本法律の全面施行後は、国、都道府県、市町村、多数の者が利用する施設等の管理権原者その他の関係者は、望まない受動喫煙が生じないように、受動喫煙を防止するための措置の総合的かつ効果的な推進を図るため、相互に連携を図りながら協力するよう努めることとなった。
- D 義務に違反する場合については、まずは「指導」を行うことにより対応する。指導に従わない場合等には、義務違反の内容に応じて勧告・命令等を行うが、改善が見られない場合でも、罰則（過料）を適用されることはない。
- E 本法律は、2020年4月に全面施行となった。

	A	B	C	D	E
1	×	○	×	×	×
2	○	○	○	×	○
3	×	×	○	×	○
4	×	×	×	○	×
5	○	×	×	○	×

(2)「救急蘇生法の指針2015市民用」(厚生労働省)の改訂の要点に関する記述A～Eについて、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- A 仮に傷病者が心停止ではなかったとしても、胸骨圧迫が傷病者に大きな害を与えることはまれなので、迷ったら心配せずに胸骨圧迫を開始しましょう。
- B これまで講習を受ける機会がなかったり、人工呼吸を行う自信がない市民であっても胸骨圧迫だけは必ず行うこととしています。
- C 胸骨圧迫のやり方がわからないときには119番通報時に教えてもらうこともできます。
- D 子どもに接する機会が多い職種(保育士、幼稚園・学校教諭)や養育者(親など世話をする人たち)についても、胸骨圧迫とともにできるだけ人工呼吸を含む心肺蘇生を習得することが望まれます。
- E 胸骨圧迫とAEDの使い方に内容を絞った短時間の講習、小学校から始まる学校教育への普及や119番通報時の口頭指導の充実に関する事などが強調されています。

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	×	×
2	○	○	○	×	×
3	○	○	○	○	○
4	×	×	○	○	○
5	×	×	×	○	○

(3) 「熱中症予防のための運動指針」(2019年 大阪府教育庁)に関する記述A～Dについて、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- A 予防のための3つの心得は「無理は禁物!」「渴く前に飲む!」「早めに判断!」である。
- B WBGT31℃を超えたときは、いったん運動を中止し健康観察する。
- C WBGT27℃の時は、積極的な休息と水分・塩分補給を行い、激しい運動では、30分おきに休息をとる。
- D 授業中の水分補給については、触れられていない。

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	×	○	×	×
3	×	×	○	○
4	○	○	×	×
5	○	○	○	×

(4) 厚生労働省ホームページに掲載されている「家庭でできる食中毒予防の6つのポイント」の記述A～Eについて、正しいもののみを全て挙げているものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- A 電子レンジを使う場合は、電子レンジ用の容器、ふたを使い、調理時間に気を付け、熱の伝わりにくい物でも、途中でかき混ぜないようにしましょう。
- B 肉や魚などは、ビニール袋や容器に入れ、冷蔵庫の中の他の食品に肉汁などがかからないようにしましょう。
- C ラップしてある野菜やカット野菜は洗わずに食べましょう。
- D 加熱して調理する食品は十分に加熱しましょう。
- E 調理前の食品や調理後の食品は、室温に長く放置してはいけません。

- 1 A、B、C、D、
- 2 A、B、C、E
- 3 B、C、D、E
- 4 B、D、E
- 5 C、D

- (5) 次の文は、平成30年度スポーツ庁委託事業 学校における体育活動での事故防止対策推進事業「学校屋外プールにおける熱中症対策」に記載されている一部であるが、下線部には誤りが含まれているものもある。文中の下線部A～Eについて、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

### 3. 熱中症予防のための留意点

学校屋外プールにおける熱中症予防対策の検討には、A. 環境要因、運動要因、主体（人体）要因への対策が必要になります。また、プールでの活動は水中での活動とプールサイドでの活動に大別されるため、それぞれの活動への対策が必要になります。

#### (1) 水中での活動の留意点

- ・水温がB. 適正水温（33℃～34℃）より高い場合は、水中でじっとしていても体温が上がるため、体温を下げる工夫をしましょう。体温を下げるには、プール外の風通しのよい日陰で休憩する、シャワーを浴びる、風に当たる等が有効です。B. 適正水温（33℃～34℃）以下であれば、水が体を冷却してくれますので、水中運動は陸上運動より体温は上がりにくいです。
- ・水着での活動であり、また、C. 運動強度が高いという水泳の特性等を考慮しましょう。
- ・口腔内が水で濡れるため、D. のどの渴きを感じにくくなりますが、適切な水分補給を行きましょう。

#### (2) プールサイドでの活動（見学・監視を含む）の留意点

- ・プールサイドで活動する場合は、E. 気温やWBGT値（暑さ指数）を考慮し、こまめに日陰で休憩する、活動時間を短くするなど、活動内容を工夫しましょう。

	A	B	C	D	E
1	×	○	×	×	×
2	×	×	×	×	○
3	○	×	○	○	×
4	○	○	×	○	×
5	○	×	○	○	○

(6) 「学校現場における業務の適正化に向けて」(平成28年6月13日次世代の学校指導体制にふさわしい教職員の在り方と業務改善のためのタスクフォース)における部活動について指摘されている様々な課題の記述A～Eについて、正しいもののみを全て挙げているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 国際調査によると、日本の中学校教員の勤務時間は参加国・地域中最長であり、その中でも、課外活動の指導時間が特に長い。
- B 教員が放課後の部活動指導に時間を過度に費やすと、授業準備、生徒との個別相談や家庭訪問、外部専門家や関係機関との連携に当たる上で支障となると懸念される。
- C 運動部活動の顧問のうち、保健体育以外の教員で担当している部活動の競技経験がない教員が中学校で46%、高等学校で41%いる。
- D 主として土日に開催される大会等への引率は教員が行っており、休日とならない状況となっている。審判等の大会運営業務も教員の負担となっている。
- E 約90%の中学校が、全教員が顧問になることを原則としている。

- 1 A、B、C
- 2 A、B、C、D
- 3 A、C、D
- 4 A、B、D、E
- 5 B、C、E



5 次の(1)～(9)の問いに答えよ。

- (1) 「2018年～2020年国際柔道連盟試合審判規程」(公益財団法人全日本柔道連盟)における「一本」の立技の評価ポイントの記述について、空欄A～Cに入る適切な語句を答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：公益財団法人全日本柔道連盟 2018～2020年国際柔道連盟試合審判規程  
(<https://www.judo.or.jp/wp-content/uploads/2018/09/b9503aa6efbe0dc222359ed70050249c.pdf>)  
P24ページ20行目

- (2) 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 保健体育編 体育編「第1部 保健体育編 第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各科目の目標及び内容 「体育」 3 内容 E 球技 [入学年次] (1) 知識及び技能 ○ 技能」及び中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編「第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各分野の目標及び内容 [体育分野] 2 内容 E 球技 [第3学年] (1) 知識及び技能 ○ 技能」における「ア ゴール型」の安定したボール操作について、記載されている例示を二つ挙げよ。

(3) 「(公財) 日本バスケットボール協会 2020バスケットボール競技規則」の記述及び図(審判のシグナル) について、空欄A～Jに入る適切な数字や語句を答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：公益財団法人日本バスケットボール協会  
2020バスケットボール競技規則  
(<https://www.japanbasketball.jp/files/referee/rule/2020rule.pdf>)  
35ページ4行目, 38ページ4行目・17行目・24行目, 39ページ17行目,  
59ページ3行目・26行目, 60ページ31行目,  
75ページ図7, 76ページ図17・図18

(4) 次の図は、スポーツ庁ホームページ「新型コロナウイルス感染対策 スポーツ・運動の留意点と、運動事例について」に掲載されている、運動取組カードの一部である。空欄A～Dに入る適切な語句を答えよ。



## 運動取組カード (中高生用)

年 組 名 前

★★★ 毎日、30分～60分程度を目安に、いろいろな運動を組み合わせて取り組みましょう。★★★

目 標	運動に取り組む日数 30分程度 ( ) 日 ・ 60分程度 ( ) 日		※目標達成のために配慮することなどを書きましょう。					
日 に ち	取り組んだ運動 (取り組んだ運動を○で囲みましょう。)					運動時間合計		
	体の (A)	動きを (B)		(C) な動き	(D) 動き			
/ (月)	 ストレッチ その他 ( )	 ウォーキング その他 ( )	 ジョギング その他 ( )	 縄跳び その他 ( )	 連続ジャンプ、 サイドステップなど その他 ( )	 縄跳び 球 技 その他 ( )	 腕立て伏せ、 上体起こしなど その他 ( )	分 60分運動した：◎ 30分運動した：○ ( )
/ (火)	 ストレッチ その他 ( )	 ウォーキング その他 ( )	 ジョギング その他 ( )	 縄跳び その他 ( )	 連続ジャンプ、 サイドステップなど その他 ( )	 縄跳び 球 技 その他 ( )	 腕立て伏せ、 上体起こしなど その他 ( )	分 60分運動した：◎ 30分運動した：○ ( )

(5) ロコモティブシンドロームを、以下の語句を使用して説明せよ。

運動器・機能・状態

(6) 「通学における交通安全の確保」(平成30年 文部科学省)に示された『学習指導要領等における交通安全教育』について、空欄A～Eに入る適切な語句を答えよ。

【中学校学習指導要領(平成29年3月告示)】

第2章 各教科 第7節 保健体育〔保健分野〕 2 内容

(3) 傷害の防止について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 傷害の防止について理解を深めるとともに、応急手当をすること。

(ア) 交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や( A )などが関わって発生すること。

(イ) 交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、( B )によって防止できること。

【高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)】

第2章 各学科に共通する各教科 第6節 保健体育 第2款 各科目 第2 保健 2 内容

(2) 安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすること。

(ア) 安全な社会づくり

安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、( C )の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の( D )が関わること。交通事故には( E )をはじめとした責任が生じること。

(7) 「新型コロナウイルス感染症の予防～子供たちが正しく理解し、実践できることを目指して～」  
(令和2年4月文部科学省)に掲載されている〔指導内容〕の抜粋の記述について、空欄A～E  
に入る適切な語句を答えよ。

- 感染症を予防するには、運動、食事、休養及び( A )の調和のとれた生活を続けることが有効であること。
- ウイルスから、自分自身を守るため、そして、大切な人を守るため、「( B )の外出を避ける」「3密を避ける」等の感染症の予防策の徹底が必要であること。
- 手洗いは( C )感染を予防するのに効果があること。
- ( D )感染とは、感染者の咳やくしゃみ、つばとともに放出されたウイルスを他者が口や鼻から吸い込んで感染することを言う。
- 感染者、( E )、医療従事者、社会機能の維持にあたる方等とその家族に対する誤解や偏見に基づく差別は許されないこと。

(8) 第2期「スポーツ基本計画」(平成29年3月文部科学省)の中長期的なスポーツ政策の基本方針として掲げられている次の記述について、空欄A～Dに入る適切な語句を答えよ。

- スポーツで「( A )」が変わる!
- スポーツで「( B )」を変える!
- スポーツで「( C )」とつながる!
- スポーツで「( D )」を創る!

(9) 世界保健機関が提唱した新しい指標で、平均寿命から寝たきりや認知症など介護状態の期間を差し引いた期間を何というか答えよ。

